



じろう歯科診療所院長インタビュー



歯科紙面内覧会



歯科ご利用案内



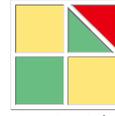
ひとりぼっちのけんじ君

あなたとともにできることところとからだにくつろぎのいっぷく

<http://www.shitada.jp>

# いっしょに

医療法人社団しただ 広報誌 2013年夏号



しただ

訪問看護ステーションとんぼ  
介護老人保健施設 いっぷく  
かもしか病院  
介護老人保健施設  
いっぷく 2 番館  
じろう歯科診療所



歯医者さんですよ～

タバコ吸って  
いろいろかねー

これなんだね～？

コンビニかね。

歯科開院前のご案内…



春 水芭蕉

湿原や林下の湿地に分布する水芭蕉。湧き水が豊かな下田でもその姿を見ることができます。

かもしか病院から5kmほどの曹洞宗 長見寺では、凜としたお寺の趣が水芭蕉の気品をさらに際立たせています。

P2 「いっしょに」

こころとからだにくつろぎのいっぷく

## 「じろう歯科診療所」開院特集

奥山次郎歯科医師、インタビュー。

2013年の3月6日、「医療法人社団しただ」に新たに「じろう歯科診療所」が加わりました。以前の「かもしか診療所」があった建物を改築し開院しました。

(旧かもしか診療所院長の北澤幹男はかもしか病院の外来医師として診察業務を行っています)。

(このインタビューは、開院前に行いました)



・最初に建物ですが、内装などとてもやさしい印象を受けます。

そうですね、木の雰囲気を中心として、柔らかいイメージを出したくてこのようにしました。とかく歯科は「痛い」というイメージがありますし、お待ちになられている間もリラックスして頂ける雰囲気を出したいと思いました。(4ページに紙面内覧会を掲載しました。合わせてご覧ください)

・そういえば畳のスペースもありますね！

かもしか診療所の時にも畳、あったのですが、くつろぐといたら「畳」ですよ。高齢者が多い地域柄もありますし。

もう、寝っ転がってテレビでも見て頂きたいですね。



・地域のお話が出ましたが、ここ旧下田村の印象をお聞かせ下さい。

父がこの地に居を構えたことから、高校生の時から住むこととなりました。

高校卒業後この地を離れましたが、相変わらず自然環境が豊かで、素晴らしいですね。



それと引き換えと言う訳ではないのですが、山あいの地域であるが故に車社会であり、高齢者や子どもたち、つまり自分で運転できない方々が歯の治療に積極的になれない環境であると思います。

また、雪、多いですよ(笑)。ここまで雪が多いとサポートしてくれる周りの方々がいないと通いたくても通えないと思うんですよ。そのような方々に寄り添う形で歯科を運営できたらいいな、と思っています。



春 漢学の里

「行不由徑」(行くに徑《こみち》に由《よ》らず)を座右の銘とした下田村出身の漢学の大家、諸橋轍次博士。徑は小道すなわち近道のこと、近道せずに大道を一步一步着実に歩むという意味を持つものだそうです。30年を超す作業を経て完成された「大漢和辞典」の編纂は、まさしく「行不由徑」の日々であったに違いありません。博士が14歳まで過ごした、生家の春です。

「いっしょに」



・今、運営方針のお話がありました。もう少し具体的におしえて頂けますか。  
一番具体的なのは無料の送迎サービスですね。さっきお話ししたようにこの地域の交通事情は都市に比べて厳しいものがあります。車などの移動手段がない方はぜひこの無料の送迎サービスを使って頂きたいものです。

高齢者はもちろんですが、子どもたちの利用も大歓迎です。近所の森町小学校はスクールバスを運行していますよね、つまり学校まで歩いて通えない距離ということは、歯医者に行くのもご家族の車で通うこととなり、共働きの多い新潟県内としてはけっこう負担だと思えます。

話は前後しますが高齢者に関して、私どもは既に「介護老人保健施設いっぴく」と「かもしか病院」「訪問看護ステーションとんぼ」と高齢者医療・介護の経験がこの地域にあります。例えば送迎する車の乗り降り一つとっても、その経験がある、ない、では大きく違うと思えます。そして隣の介護老人保健施設いっぴくには当然車いすが乗せられる車両があります。そんな経験と設備を生かして子どもたちからお年寄りまで、地域の歯科医療、そして健康の底上げをしていきたいですね～。

・熱いですね～、松岡修造なみに熱いですね！この際なので思いのたけを語ってください！

ええ、このような地域では診療室で待っているだけでは、どうもだめな気がします。地域に出て、お年寄りや障がいのある方、介護が必要な方などのサポートとして訪問診療も大事なことだと思うんですね。それには法人という組織力を活かせるはずですね。

・この熱さをご家族でバンドを組むことになるのですね！

えっ？

・先生がベース！ご息女がドラム！先生のお兄様がギター！そして奥様がボーカル！

えーっ、これって広報誌に載るんですか？

・(先生の話の流れで…)そしてやるのは東京事変、つまり椎名林檎！情念こもりますね！

(半ば開きなおって…)情念こもった歯科！ということで…。

・本日はお忙しい中ありがとうございました。





夏 大蛇祭り

下田の夏を代表するお祭り、『雨生の大蛇祭』。五十嵐小文治にまつわる伝承、「雨生ヶ池に残る、池の主と名主の娘との恋物語」を題材とした、杉の木の頭部と竹と藁を組み合わせた長さ約 60 メートルの大蛇。その行進は圧巻です。

P4 「いっしょに」

こころとからだにくつろぎのいっぷく

じろう歯科診療所 「紙面内覧会」



- ① 玄関を入ると、そこはやさしい木の雰囲気にもまれた親しみやすい待合室です。
- ② 優しい風合いのソファです。一見普通に見えますが実は足腰に自信のない方でも「座る」「立つ」が楽にできるように座面の高さ・形状が工夫されています。
- ③ これがP2の次郎先生のお話にありました「畳スペース」。もう、おうちです!ごろんとしながらテレビでも。



- ④ そして診察室です。待合室と同じ優しい木の雰囲気です。一つ一つの診察台の間隔も大きくとられ、ゆったりとした気分で治療を受けることができます。また、そのゆったりとした間隔は車いすも楽に入れるように計算されています。
- ⑤ 診察台です。目を引くのは大きいモニター!このモニターで自分の歯の様子を見ることが、治療方針の説明を受けることができます。
- ⑥ この白い物体の正体は・・・。「口腔外バキューム」という機器なんです。実は歯を削るときには目に見えない細かな水や唾液、粉塵が飛び散るそうです。この「口腔外バキューム」は強力な吸引力でそれらを吸いとり、衛生的な環境とスムーズな治療を可能にするそうです。

いかがでしたでしょうか、紙面内覧会。紙面でお伝えできないことが多々あります。皆さんもぜひ一度ご来院ください。

したた郷の季節いろどり—その④



夏 夏の虫

梅雨が明けて夏の風を感じ始めるころ、子供たちが夢中になる昆虫が少しずつ賑わいを見せます。クワガタムシ、カブトムシに代表される甲虫のほか、普段では見落としがちなの小さな昆虫もたくさん発見することができます。

夜空に広がる満点の星と小川で幾筋にも光るホタルのイルミネーション、虫たちの奏でる演奏が下田の夏の風物詩です。

したた郷の季節いろどり—その⑤



秋 はざかけ

美味しい水で元気に育った下田の米。なかでも昔ながらに自然の力を利用して太陽の光と風で乾燥させた米は格別です。天候によっては1ヵ月以上もかかることのある“はざ掛け”は手間も時間もかかりますが、ゆっくりと時間をかけて旨味の増した米は下田米の至宝です。

歯科・小児歯科

じろう歯科診療所



はいしゃさん



院長 <sup>おくやま</sup> 奥山 <sup>じろう</sup> 次郎  
三条市歯科医師会 会員

診療案内	月	火	水	木	金
午前 9:00~12:30	●	●	●	●	●
午後 2:00~ 6:00	●	●	●	●	●

※平成 25 年 7 月現在の診療案内です。

無料の送迎サービスを行っております。

- 送迎は事前のご予約が必要です。
- 送迎できる範囲がございます。詳しくはお問合せください。

休診日

土曜日・日曜日・祝日

- 介護老人保健施設  
いっぷくとなり



☎ 0256-46-0388



冬 八木ヶ鼻

辺り一面が雪に覆われる冬の八木ヶ鼻。まるで色を忘れたかのような白と黒の景色は、深々と降り積もる雪の音だけが聞こえてきそうな水墨画の世界。圧倒される絶壁と、雲を支配し雪を混えるその荘厳な姿は神秘性をも感じさせて訪れた人々を魅了します。

## P6 「いっしょに」

こころとからだにくつろぎのいっぷく

### ひとりぼっちのけんじ君

かもしか診療所（現在のかもしか病院外来）から少し離れた交差点の脇に小さな家がぼつんと建っています。

あまりにも小さくて簡素なこの家には人が住んでいる気配はなく、うち捨てられた無人の小屋のようです。

その小さな家に50才を幾つか過ぎたけんじ君は、一人暮らしです。

両親が亡くなってからは、近くに住む姉さんが様子を見に来るくらいで、訪れる人もありません。幼い頃から、風貌も行動も地域の人からは異様に思われていて、友達もなく、一人ぼつねんと暮らして来ました。

以前から、変わった風貌ときたない格好だという事で、盗難等の事件があるたびにけんじ君がいつも疑われて来ました。

数年前に、お金に困ったけんじ君は、本当に盗みを働いて警察に捕まってしまいました。

そのけんじ君がある日、姉さんに伴われて診療所を受診しました。

確かに、薄汚れた格好と、やや不自由なしゃべり方では、見る人を怖がらせる風体でした。

姉さんは

「何とか薬でこの人をまともに出来ませんか」

「できません」

「また警察に捕まると困るんです」

「……………」。

「けんじ君、草取りしようよ」

「診療所の前の花壇や周りの草取りをお願いするから」

「でもお金は払わない、その代わりにお昼をごちそうするから」

そして、何か納得のいかない顔で姉さんとけんじ君は帰って行きました。

翌朝、診療準備をしていたところ、受付の職員が血相を変えて飛んで来ました。

「先生、凶器を持った怖い人が待合室にいます。」

「えー」

「周りのお年寄りが怖くて固まっています。」

困ったなと思いながら、待合室をのぞいてみると、何とピカピカに磨かれた良く切れそうな鎌を抱い

てけんじ君が真面目な顔でソファに座っていました。

周りにいたお年寄りも恐怖感から、しんと押し黙っていました。

何かあるといけないと思いながら、思い切りの笑顔を浮かべながら

「けんじ君や、草取りする気になったかい」

「うん、うれしくてさっそく鎌もちゃんとお金を払って買って来た」

「でもけんじ君、鎌を丸出しで持って来たら、周りが怖がるよ」

「うんうん だいじょうぶ」

その日から、けんじ君は雨の日も暑い日も休日以外は毎日診療所に来るようになり、黙々と草取りをしました。最初は花を抜き、草を残していましたが、少しずつ刈るべきものが判るようになりました。冬は、一生懸命に雪かきをしてくれます。

約束通り、お昼は給食を用意してあげますが、厨房の職員もけんじ君にだけは、おかずを多くしたり、おまけをつけたり、ご飯はもちろん大盛りです。

けんじ君が来るようになり、数年も経つと、草取りや雪かきをしている姿が、景色にとけ込むようになりました。

そんなある日、人目を避けるように刑事さんが診療所に来ました。

隣町での窃盗事件の捜査だと伝えられました。最近のけんじ君の働きぶりや休んでいないか等を訪ねて帰りました。

警察はけんじ君が犯人だと思っているようでした。心配になり、けんじ君の家に行きました。

「最近、悪い事してないよね」

「うんうんしてねえよ」

「なんかあったらしくて警察が診療所に来た」

「何にもしてないよね」

「うんうんしてねえよ」

その数日後に、刑事さんからけんじ君に会って来たと言った電話が有りました。

けんじ君の生活はきちんとしていたし、本当の犯人も見つかった。捜査とはいえ、けんじ君には迷惑をかけたと言われました。

最近、職員の夏のビール大会や、忘年会に招かれて一緒にお酒を飲むようになりました。

ひとりぼっちなけんじ君ですが、今ではみんなの景色の中で、大事なけんじ君です。

北澤幹男



## 医療法人社団しただ

- 訪問看護ステーションとんぼ
- 介護老人保健施設いっぱく
- じろう歯科診療所  
新潟県三条市長野 337 番地

- かもしか病院  
新潟県三条市南五百川 80 番地

- 介護老人保健施設  
いっぱく 2 番館  
新潟県三条市帯織 800 番地



## いっしょに 医療法人社団しただ広報誌 2013 年夏号

発行  
医療法人社団しただ  
この広報誌に関するお問合せは  
以下までお願いします  
955-0128  
新潟県三条市南五百川 80 番地  
TEL 0256-46-0452  
FAX 0256-46-0457  
かもしか病院内5F  
医療法人社団しただ総務部

オフィシャルウェブサイト  
<http://www.shitada.jp>  
オフィシャルブログ  
「しただブログ」  
<http://shitada.blog-niigata.net>

## 法人理念

## こころとからだにくつろぎのいっぱく

## ケア方針

1. 寄り添うケア  
生活を一緒にする中で、その人の生活のペースを大切にします。  
ふだんの 1 日 1 日を大切に過ごします。
2. 元気になるケア  
人は麻痺や老化で元気がなくなるのではありません。  
年をとって麻痺したからだを持ってまで生きたいという気にならないからです。  
その人の元気を取り戻すケアをします。
3. 知るケア  
人にはそれぞれ生きてきた歴史や人生があります。  
その方を知る努力をし、個性を大切にします。

## 広報誌名「いっしょに」のタイトルについて

わたし達は一日の中で誰かといっしょに行動する機会が必ずあるのではないのでしょうか。一人暮らしの方でも会社や学校、地域のコミュニティなどでどなたかといっしょに行動するでしょう。そして生まれてくるときも一人ではありません。しかし現在の医療施設で、入院／入所となると、家族と切り離され、相部屋であっても「ひとり」のイメージがつきまとう気がします。当法人では施設であっても家庭のような心暖まる場所にしたい、そんな理想を持って運営しています。そのような想いをこめた名前です。



よりそっている姿を表現しました。  
当法人パンフレット表紙に使用しています。

